

第19回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 九重町

ー 自然を守り、美しいコミュニティづくりを ー

平成 26 年 5 月 24 日(土)～25 日(日)・大分県九重町

《 呼びかけ 》

東日本大震災・福島第一原発事故から、3 年余が過ぎましたが、地震・津波被害の甚大さや原発災害の長期化をみれば、被災者の生活と生業の再建、地域の再建には長い期間が必要です。また、その後も、予想をはるかに超える台風・大雨や大雪など大きな自然災害が続いています。

こうした中で、地域コミュニティに手が届く自治体の意義と役割があらためて注目されるなど、小規模自治体の意義と役割が問われています。その間に道州制や自治体再編を進めれば、ふるさとの復興に取り組む被災自治体や被災者の願いを踏みにじることになります。

また、道州制の導入をめざそうとする動きが依然として進んでいます。道州制は、国家機能の一部と都道府県から承継した事務を処理、新たに「基礎自治体」を編成するため、さらなる市町村の大幅な再編・合併を進めようとしています。

新たな道州や基礎自治体には、国による財源保障機能が確保されないことも想定され、小規模自治体、町村の存立を保障する国の責任放棄をも意味します。

さて、私たち「全国小さくても輝く自治体フォーラムの会」は、平成 15 年 2 月に長野県栄村で第 1 回「全国小さくても輝く自治体フォーラム」を開催しました。回を重ねるごとに小規模自治体の魅力を高め、交流を深めて小規模自治体の存在意義を全国民にアピールしていくことを決意し、平成 22 年に会員組織となりました。

19 回目となる今回のフォーラムは、大分県九重町で皆さまをお迎えします。

九重町は、実に町土の約 1/2 が国立公園や国定公園に指定されています。このため、開発には多くの規制が伴いますが、逆に言えば手付かずの自然がまだまだいっぱい残っているということでもあります。自然環境はどこにも負けないくらい豊かではありますが、大型ショッピングセンターや本格的な書店も無く交通網もまばらなこの町は、日々の生活に決して便利などころではありません。加えて冬の一時期は九州にもかかわらず雪に閉ざされることさえ珍しくありません。

しかし、田舎であるが故に、不便であるが故に、都会では見えなくなった本当の色が、聞こえなくなった本当の音が、味わえなくなった本当それこそ手付かずのままで、昔のままで残っています。中には、埋もれてしまいそうになっているものもあるかもしれませんが、私たちはそれらを大切に、町のあちこちに日本人なら誰でも懐かしいと感じる昔ながらの魅力的な“田舎”を沢山残して、そして訪れた皆さま方に感じていただきたいと思います。

ゆったりと時間が流れる九重町へは、是非ともゆっくり目のスケジュールでお越し下さい。本物の田舎に触れたとき、日頃のストレスもきっと吹き飛ぶことでしょう。

主 催：全国小さくても輝く自治体フォーラムの会

事務局 〒162-8512 東京都新宿区矢来町 123 自治体問題研究所内

TEL：03-3235-5941 FAX：03-3235-5933 E-mail:info@jichiken.jp

開催地：大分県九重町【現地事務局】

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上 8-1 九重町役場総務課行政グループ

TEL:0973-76-3800 FAX：0973-76-2247 E-mail:forum@town.kokonoe.lg.jp

【1日目・5月24日（土）】

12:00～	受付		九重文化センターホワイエ
13:00～	歓迎行事	九重あばれ獅子と九重樽太鼓のコラボ 玖珠神楽	九重文化センターホール
13:30～	開会	主催者（会長）及び開催地町長挨拶、その他	
14:00～15:15	記念講演	演題「町や村を元気にする地元学のすすめ」（仮） 講師：吉本哲郎氏（地元学ネットワーク主宰）	
移動		各会場への移動は徒歩	
15:30～17:15	分科会	①自然保護のコミュニティづくり ・事例報告：（宮崎県綾町） ・事例報告：（北海道東川町） ・事例報告：大分県九重町・九重ふるさと自然学校 ・助言者：杉浦嘉雄氏（日本文理大） 司会：（大分県九重町）	九重文化センターホール
		②再生可能エネルギー活用のまちづくり ・事例報告：（熊本県五木村） ・事例報告：（長野県栄村） ・事例報告：（大分県九重町） ・助言者：傘木宏夫氏（長野県住民と自治研究所） 司会：中島熙八郎氏（くまもと地域自治体研究所）	九重保健福祉センター会議室
		③農林・畜産業振興と地域づくり ・事例報告：（宮崎県諸塚村） ・事例報告：（岡山県奈義町） ・事例報告：大分県九重町・鷲頭栄治氏 ・助言者：嶋田大作氏（福岡女子大） 司会：平川一郎氏（福岡県自治体問題研究所）	九重町役場庁舎 301会議室
		④町村長交流会	九重文化センター大会議室
移動		＊交流会場へ移動は徒歩にて	
17:30～18:15	「会」総会		九重文化センター大会議室
移動		＊交流会場への移動は徒歩にて	
18:45～20:45	夕食交流会		九重文化センター体育館
休会		＊宿泊施設等へシャトルバス等で移動	

【2日目・5月25日（日）】

移動		*各宿泊施設等からシャトルバス等で移動	
9:15～11:15	シンポジウム	テーマ：自然保護と住み続けたいまちづくり シンポジスト：黒木定蔵氏（宮崎県西米良村長） 小森純一氏（佐賀県基山町長） 坂本和昭氏（大分県九重町長） 西脇亜也氏（宮崎大学教授） コーディネーター：入谷貴夫氏（宮崎大学教授）	九重文化センターホール
11:15～11:45	次期開催地挨拶・アピール		
解散		*オプション企画参加者は、昼食会場へ	

【オプション企画】

12:30～13:10	九州電力八丁原地熱発電所へバスで移動
13:15～13:55	九州電力八丁原地熱発電所見学
14:00～14:15	タデ原湿原（長者原）へバスで移動
14:20～15:00	ビジターセンター見学とラムサール条約登録湿原散策
15:05～15:15	九重“夢”大吊橋へバスで移動
15:20～15:55	九重“夢”大吊橋施設見学
16:00～16:30	九重町役場へバスで移動
16:35～18:20	福岡市へバスで

② 参加費用

- フォーラム参加費
（団体会員：町村長・議員・職員、および個人会員） 3,000円
（会員以外） 4,000円
- 夕食交流会参加費 3,500円
- オプション企画参加費 1,000円（入場料等込み）
- 昼食（弁当、お茶） 1,000円

③ 宿泊斡旋

九重町観光協会（FAX：0973-77-7676） 案内時間 8:30～17:00（土日・祝日を除く日）
「第19回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 九重町」係（担当：高宗・佐藤） Tel:0973-73-5505
〒879-4801 大分県玖珠郡九重町大字右田 714-28 JR豊後中村駅構内

交通アクセスのご案内

開催会場まで 【5月24日(土)】

■自家用車等	同封の「このえGUIDEMAP」をご参照下さい。
■航空機	福岡空港から有料シャトルバスかJRをご利用下さい。大分空港から空港バス等乗り継ぎ、JRをご利用下さい。福岡空港からは有料シャトルが便利です。
■JR	JR博多駅及びJR大分駅からJR久大線豊後森駅下車、開催会場まで無料シャトルバス(3便)をご利用下さい。JR博多駅からは有料シャトルが便利です。
■有料シャトルバス	現地事務局が運行するJR博多駅(11:10 発)及び福岡空港(11:30 発)から開催会場までの直行便(1便)をご利用下さい。利用料金は、お一人様 片道 2,000 円(当日徴収)です。利用される場合は、事前の申し込み(参加申込書に記入)が必要です。
■無料シャトルバス	JR久大線豊後森駅から開催会場まで無料シャトルバス(3便)をご利用下さい。利用される場合は、事前の申し込み(参加申込書に記入)が必要です。
□高速バス	開会時間帯に適した福岡及び大分・別府方面からの便数が少ないため、インターバス停からの送迎の対応はしません。やむを得ず利用される場合は、現地事務局にご相談下さい。

開催会場から 【5月25日(日)】

■自家用車等	同封の「このえGUIDEMAP」をご参照下さい。
■航空機	福岡空港まで有料シャトルバス、JRをご利用下さい。大分空港までJR、空港バス等をご利用下さい。福岡空港までは有料シャトルが便利です。
■JR	無料シャトルバスを利用し、JR豊後森駅及び豊後中村駅下車、JR久大線をご利用下さい。(参考～福岡方面 特急 12:39 特急 14:48 発、大分方面 各駅 13:22 特急 14:24) JR博多駅までは有料シャトルが便利です。

